

地域課題① 広域コミュニティ組織の検討

★具体的取組の例

- 近隣する単位自治組織との情報交換や交流と協力体制の検討
- 広域コミュニティ組織の活動を共有する機会と場づくり
- 単位自治組織の将来像の共有と区長会、自治公民館連絡協議会等との意見交換会の実施

選択肢	回答数	割合
取り組んだ	6	29%
取り組まなかった	13	62%
無回答	2	9%

具体的取組とその効果など

【31～100 世帯】

- ・役員会で広域コミュニティについて意見交換を実施した。高齢者が多くなると、拠点施設までの集合場所が遠くなり、車での移動が必要となり、逆に参加する人がいなくなると危惧された。
- ・現在の地区状況を鑑み、将来像を考えるきっかけとなった。

【101～300 世帯】

- ・広域の自主防災会で、新名簿を作成し、手引きと共に班員に配布し、意識づくりをした。
- ・単位自治組織の将来像の共有と区長会、自治公民館連絡協議会等との意見交換会を実施した。
- ・自主防災会の広域連携が必須なため、避難等に関する取組みは小学校区を範囲とした地区防災会の設立を受けての対応とした。

地域課題② 住民自治組織等の理解促進と事業の見直し

★具体的取組の例

- 近隣する単位自治組織との情報交換や交流と協力体制の検討
- 一体感を醸成するための子どもから高齢者まで参加できる事業の実践
- 市民まちづくり活動促進事業補助金等、地域コミュニティの課題解決のための事業の活用
- 組織や活動等理解してもらえるよう総会資料の工夫や広報の検討
- 事業活動の見直しとともに適正な自治会費の検証
- 若者や女性の参画に向けた住民ニーズの把握
- SNS の活用などによる役員負担の減

選択肢	回答数	割合
取り組んだ	14	67%
取り組まなかった	5	24%
無回答	2	9%

具体的取組とその効果など

【30 世帯以下】

- ・地区住民同士の親睦事業を行うことにより、一体感が生まれている。
- ・住民相互の交流ができ、地域事業に関する理解が図られた。

【31～100 世帯】

- ・地域の一体感を語るため、再開したいとの意見が多い、地域住民が参加できる事業として育成会と老人クラブ合同で輪投げ大会を行った。
- ・役員報酬を見直し、減額した。
- ・自治会、公民館と分かれて活動を行っている。役員改選時、後任探しに苦労している。

【101～300 世帯】

- ・役員同士の日程調整を LINE 等で実施した。
- ・運動会、ビアガーデン等、地区の人が集まる機会が数年開催できず、ビアガーデンをしたが参加者が少なかった。
- ・コロナ禍前に近づいた事業実施を行うことができた。
- ・自治会広報を作成し、活動内容、活動予定のため情報を共有した。
- ・事業活動の見直しと共に適正な自治会費の検証を行った。
- ・LINE 等を利用することで文書等が削減でき、効率的に周知できた。
- ・組織に活気が出たが、組織再編による事業の見直しができず、役員の負担が大きくなった。
- ・コロナ禍から一変し、活動費の見直しの話合いができた。

【301 世帯以上】

- ・自治会の広報を年 4 回発行、自治会活動の理解を求めるよう努力している。
- ・自治会活動に対する理解は、まだ浸透していないと感じている。

地域課題③ 次代を担う人材育成と後継者対策

★具体的取組の例

- 民俗芸能や伝統文化への理解促進と継承活動の支援
- 子どもの頃から地域固有の歴史や文化、伝統、産業などへの理解を促す機会づくり
- 地域の特徴である果樹栽培を始めとした農業の魅力を伝え、若者が就労先の一つとして選択できるような支援
- 結婚を後押しする雰囲気づくりと子育てしやすい環境づくり
- つるおか婚シェルジュの周知と連携
- 若者や女性を登用し、SNS の活用など、得意分野を活かした役割分担により、自分が必要とされている喜びや達成感を感じる仕掛けづくり
- 若者の参画のもと、農業生産者等との連携による環境美化活動等の実施
- 地域と学校の連携・協働によるコミュニティスクールの導入と地域学校協働活動の推進

選択肢	回答数	割合
取り組んだ	13	62%
取り組まなかった	6	29%
無回答	2	9%

具体的取組とその効果など

【31～100 世帯】

- ・地域内にある神社に奉納する民族芸能の継承活動を支援している。
- ・年代構成を基に後継者の適任者等を役員会議で協議した。
- ・敬老事業で小学生からお祝いメッセージを送った。
- ・結婚、出産祝い金の贈呈を行った。
- ・夏休みの間、5 日間の子供宿題教室を開催した。
- ・代々受け継がれていることへの自負が生まれており、地区事業への参加率も高い。
- ・各種会合、懇談会等で次世代の人達と情報を共有する等取り組んだ。お互い共通の認識を持てた。

【101～300 世帯】

- ・小・中学校育成会や老人クラブ等との意見交換会を実施した。
- ・神社を中心とする民俗芸能に若い人が少しずつ参加するのがみられる。

- ・役員会レベルで役員のなり手、候補者等を検討した。
- ・次代を担う人材育成のため、地区役員会への積極的参加を促し、又参加の際必ず意見を求めた。
- ・地域と学校の連携協働によるコミュニティスクールの導入と地域学校協働活動の推進を図った。

【301 世帯以上】

- ・消防団の人員確保について、地区消防団の話合いを行った。消防団員の確保については、地元に残る人材の確認方法も必要と感じた。
- ・新年度において、育成会との意見交換の機会を持ち、小学生の頃から郷土に対する愛着心を持つように取り組みたい。

その他

- ・後継者不足。どうしたら止めることができるのか皆で考えるしかない。

地域課題④ 安全・安心な地域の構築

★具体的取組の例

- 防災意識の高揚を図るための定期的な防災訓練や防災座談会の開催
- 支援が必要な人と支援ができる人の把握と見守り・支え合い体制の仕組みづくり
- 緊急時や災害時に備えた住民情報収集の必要性の確認及び取り扱い方法、活用方法の確立
- 自主防災組織の機能の点検と体制整備
- 消防団活動協力員の加入促進
- 見守り隊の機能の点検と体制整備、青色パトロール隊活動の支援
- 高齢者世帯の増加を見込み、高齢者のニーズ（除雪・買い物・通院等）への支援体制づくり
- 毎月1日に交通安全・防犯の小旗を掲揚し、地域ぐるみで交通事故防止・犯罪防止に努める
- 空き家の実態把握、所有者に対する適正管理の指導
- 空き家等に関する転出時の単位自治組織での取り決めの検討
- 地域共生社会の実現に向けた「地域支え合いプラン」の推進

選択肢	回答数	割合
取り組んだ	15	71%
取り組まなかった	4	19%
無回答	2	10%

具体的取組とその効果など

【30 世帯以下】

- ・自主防災組織を巻き込んだ災害発生時の対応について検討した。

【31～100 世帯】

- ・自主防災組織の見直しを行い、活動計画立案と実践を行った。
- ・全戸による毎月1日の交通安全、防犯の小旗を掲揚した。空き家周辺の適正管理に努めた。
- ・安否確認訓練と安否確認シートのメンテナンスを行った。
- ・自主防災組織の消防協力会との会議を開催し、機能の点検と体制を確認した。
- ・防犯灯などの見回り点検、見守り隊を広く募集した。地区内無事故、犯罪防止となった。
- ・民生児童委員と協力し、要支援者名簿を作成した。
- ・自動車に乗って児童の通学を見守る青色パトロール隊活動を支援した。
- ・空き家、1人暮らしの高齢者が増えている。高齢者の毎日の生活、通院、買い物などについて把握した。
- ・避難所開設訓練は初めてであったが、積極的に参加いただき効果があった。

【101～300 世帯】

- ・災害時の安否を確認するため、各世帯の人数を確認した。
- ・防犯パトロール隊、見守り隊の通年活動を支援した。
- ・空き家の実態把握として、所有者に対し適正な管理の指導をした。高齢者が管理している場合、注意しても聞いてもらえない。

【301 世帯以上】

- ・防犯灯の増設を行い、危険箇所の減少を図った。
- ・駐在所、小学校と見守り隊の方々と危険箇所について話し合った。

その他

- ・他県と比較して、災害等が少ない地域であることから、身近なこととして感じるができないように感じられた。

その他／ 地域で課題になっていることなど

【30 世帯以下】

- ・空き家、後継者対策。
- ・地区周辺の道路事情などの環境対策。

【31～100 世帯】

- ・男女とも青年層が少なく、自治公民館組織の維持が難しくなっている。
- ・婦人団体が消滅し、老人クラブの存続も難しくなっている。
- ・役員の改選期は、なり手不足に加え、就労期間の延長などもあり、人選は難航する。

【101～300 世帯】

- ・高齢者世帯の増加。
- ・強風で倉庫の屋根が飛んだり、道路に生け垣の枝が伸び道路が狭くなったり、空き家等の管理が問題となっている。

【301 世帯以上】

- ・コロナの影響か自分本位の考え方が目立つようになった。
- ・地域の役員としての責任感が薄く、地域内の施設を地域で維持していくという認識が見えない。

その他／ 具体的に考えている事業や取組んでみたい事業など

【31～100 世帯】

- ・防災関係から人と人の関わりに慣れてもらう。
- ・スポーツ・レクリエーション・学習講座等を開催し、自治公民館の活性化を図る。

【101～300 世帯】

- ・運動会を計画するも組長、選手の取りまとめが大変で、実施が難しい。
- ・事業に取り組む前に、公民館の維持管理が大変。
- ・古い公民館の撤去が問題となっている。

【301 世帯以上】

- ・地域防災計画と連携した「地区防災計画」を 6 年度早急に完成させたい。

その他／ 地域コミュニティに関するご意見など

【31～100 世帯】

- ・ 広域コミュニティと単位自治組織の活動範囲の具体的例示があれば、単位自治組織内の欠けている部分について補完方法が見つかるのではないかと思う。
- ・ 個人情報保護が優先され、表面上しか見えず、踏み込むことができない。
- ・ 地域づくりには、広域コミュニティ組織が必要。区長会も市も積極的に取り組んでほしい。

【101～300 世帯】

- ・ 若い世代が自治活動に無関心で不参加となることがある。地域でのコミュニケーションが取れない人達とどう向き合うか。

【301 世帯以上】

- ・ 新規の入居が多いことから、隣組の繋がりが心配。特に新興団地に強く感じられる。
- ・ 昔ながらの助け合いの心が薄く感じられる。
- ・ 誰かがやってくれるという気持ちが強く、地域の先に立ち、リーダーとなる気持ちが薄い。
- ・ 地域内のサークルには所属しているが、自分が代表になると会を脱退する事例がある。
- ・ 退職年齢が引き上げられた場合、退職後に地区の役員を引き受けてもらえるか不安がある。